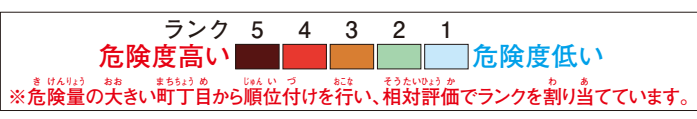
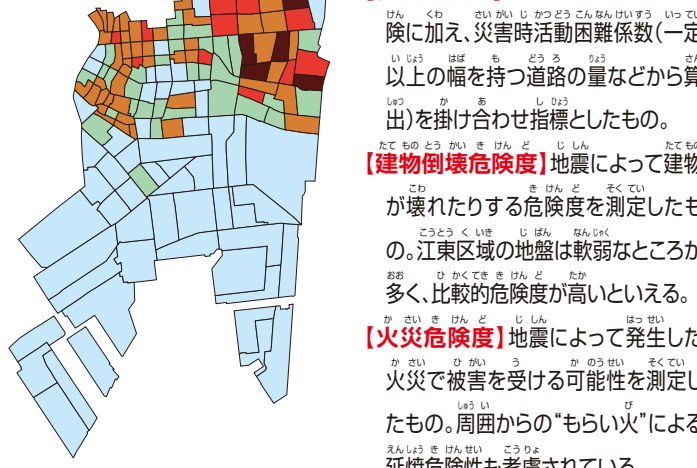


# ！情報 地域危険度測定調査結果

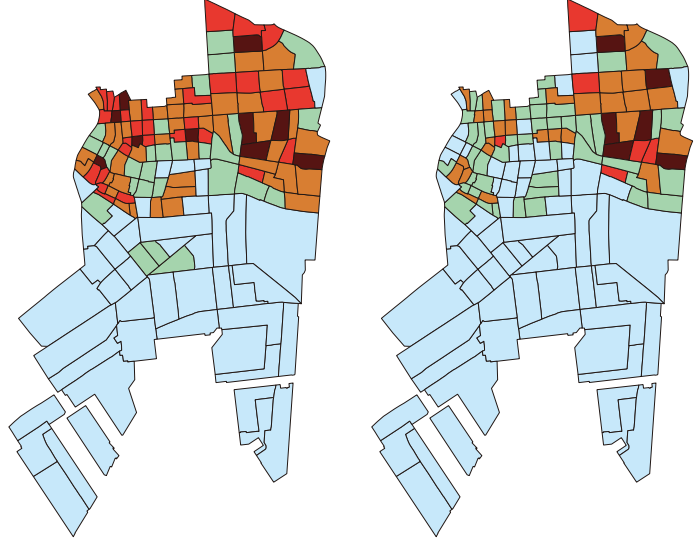


危険度高い 危険度低い ※危険量の大きい町目から順位付けを行い、相対評価でランクを割り当てています。

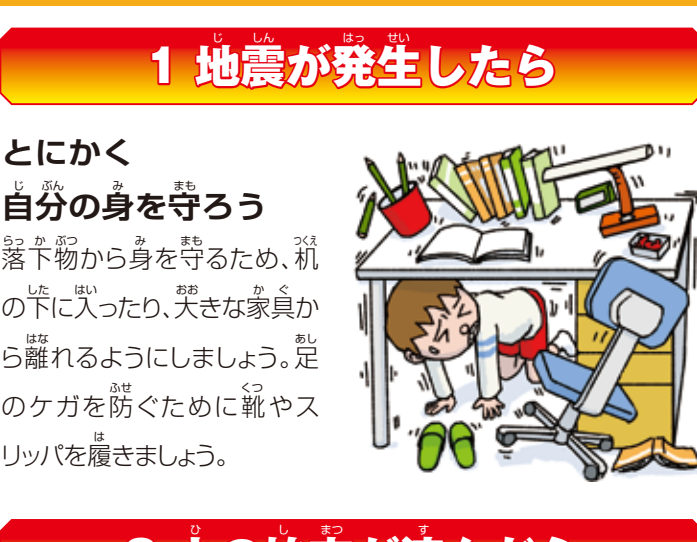
## 総合危険度



## 建物倒壊危険度



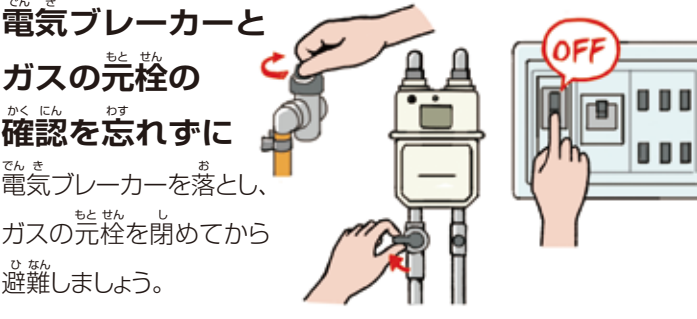
## 火災危険度



## 1 地震が発生したら



## 2 揺れが収まったら



地震発生直後の行動ポイント

# ！情報 日頃から備えておこう

① 訓練に参加しよう 災害が起きたときに、何の準備もなく適切な行動をとることは不可能です。災害時に適切な行動をとり、被害を最小限に抑えるには、日頃から防災訓練に参加することが大切です。

② 非常持出品を用意しよう 避難の際に当面必要となる物を用意しておく、それらをリュックなどに入れ、いつでも持ち出せる所に置いておきましょう。

③ 家の中を安全に 二次災害を防ぐために、大きな家具を固定する、ガラスに飛散防止フィルムを貼る、石油ストーブの転倒防止をする、感震ブレーカーの設置などで火災対策を行うなどが大事です。

④ 家族会議を開こう 災害時に家族が離れ離れになってしまう事態ほど不安なことはありません。家族会議で、待ち合わせ場所や、災害用伝言ダイヤルの活用法を決めておくことが重要です。

⑤ 避難場所などを確かめよう 災害時の避難所や避難場所だけでなく、一時集合場所なども確認しておきましょう。いつもの道が壊れた建物などで通れない場合に備え、複数の経路を確認することも大切です。 帰宅困難になった時に備え、水、トイレや情報提供の支援を受けられる施設を事前に調べておくことも重要です。

# ！情報 災害時の情報取得方法

災害発生情報や避難情報は、様々な方法で取得できます。テレビ、ラジオに加え、日ごろから情報入手先を確認しておきましょう。

防災行政無線 区内の小中学校や公園にスピーカーを設置しています。普段は、点検放送として夕方チャイム放送しています。

緊急速報メール・エリアメール 通信混雑の影響を受けずに、携帯電話で区や気象庁などから文字情報を受信することができます。(※各携帯電話会社がサービス提供)

こうとう安全安心メール メールアドレスを登録し、気象・災害情報、防災行政無線の放送内容、国から発せられた緊急情報(Jアラート)、防犯情報などが受信できます。 anshin.koto-city@raidan.ktaiwork.jpへメールを送信し、配信登録を行ってください。右記QRコードからも行えます。

防災マップアプリ、江東区防災関連ツイッター 防災マップアプリ(右記QRコードよりダウンロード) ハザードマップ情報、避難施設検索などができます。 江東区防災関連ツイッター @koto\_bosai 区の防災や災害に関する情報、避難行動を促す情報などを配信します。通常時は区の防災情報や防災対策のツールとして運用しています。

区のウェブサイト 区のホームページ https://www.city.koto.lg.jp 区のホームページのトップに緊急情報を掲載いたします。

その他の情報伝達手段 その他にも、江東区LINE、フェイスブック、ケーブルテレビ、コミュニティFM、Yahoo!防災速報などを活用し、災害関連情報を配信します。

# ！情報 非常時の持出品リスト

- 1 水 一人1日 3リットルを自為に
2 非常食 非常時用は保存期間を重視
3 携帯トイレ 1日5回分を自為に
4 携帯ラジオ 手回し 充電式のものがよい
5 救急用品 解熱剤やカゼ薬も
6 衛生用品 マスク、生理用品、おむつ、除菌ウェットティッシュなど
7 モバイルバッテリー 電池式だと 充電時でも安心
8 現金 機械破損や 停電でATMなども動かないことがある
9 その他 ヘルメット、衣類、軍手、マルチツール、処方箋薬など

非常持出品 災害発生時に備え、必要となる物を用意しておくことが大事です。上のリストを参考に、いざという時にすぐに持ち出せるよう日頃から準備しておきましょう。また、使用時に支障がないよう、年2回を自為に定期点検をし、賞味期限などを確かめましょう。

日常備蓄について 自宅で生活する上で必要な食料品や生活必需品を、日ごろから備えておくことが重要です。まずは3日分を目標にしましょう。



# ！計画 大規模水害発生時の避難方法

大規模な水害の発生が見込まれる時には、区や消防署などから防災行政無線などを使って避難の呼びかけをします。避難の呼びかけがあった際には、区が指定する公共施設や一時避難施設などの避難先へ速やかに避難してください。その際、建物のできるだけ高いところに避難することが大切です。なお、自宅が安全であれば、在宅避難が基本となります。

- 一時避難施設
提供内容 大規模水害の発生時に、企業や共同住宅の指定されたフロアなど(原則3階以上)を開放する。(企業の場合は、原則として勤務時間内に発生した場合のみ)
施設が開放される期間
1 大規模水害の発生時 区が避難指示等を発令した時
2 津波の発生時 東京湾内に大津波警報が発表された時
※区が指定する避難施設まで避難する余裕がない場合は、区内の都営住宅の共用部分への緊急避難が可能です。



# ！計画 大規模水害発生時の避難方法

大規模な水害の発生が見込まれる時には、区や消防署などから防災行政無線などを使って避難の呼びかけをします。避難の呼びかけがあった際には、区が指定する公共施設や一時避難施設などの避難先へ速やかに避難してください。その際、建物のできるだけ高いところに避難することが大切です。なお、自宅が安全であれば、在宅避難が基本となります。

- 一時避難施設
提供内容 大規模水害の発生時に、企業や共同住宅の指定されたフロアなど(原則3階以上)を開放する。(企業の場合は、原則として勤務時間内に発生した場合のみ)
施設が開放される期間
1 大規模水害の発生時 区が避難指示等を発令した時
2 津波の発生時 東京湾内に大津波警報が発表された時
※区が指定する避難施設まで避難する余裕がない場合は、区内の都営住宅の共用部分への緊急避難が可能です。



# ！計画 地震発生直後の行動ポイント

## 1 地震が発生したら

とにかく自分の身を守ろう 落下物から身を守るため、机の下に入ったり、大きな家具から離れるようにしましょう。足のケガを防ぐために靴やスリッパを履きましょう。

## 2 揺れが収まったら

まず火の始末 火を使っている時は、大きな揺れが収まったらあわてずに火の始末をし、出火防止。

## 3 火の始末が済んだら

出口を確保する いつでも避難できるように、部屋の窓や戸、玄関のドアを開けて出口を確保。

## 4 自分の安全を確保できたなら

我が家の状況を確認 我が家の状況を見て、在宅避難が困難な場合は、非常持出品を持って避難しましょう。

# ！計画 帰宅困難者心得10カ条

- 1 あわてず騒がず 状況確認
2 携帯ラジオを ポケットに
3 作っておこう 帰宅地図
4 ロッカー開けたら スニーカー(防災グッズ)
5 机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)
6 事前に家族で話し合い (連絡手段、集合場所)
7 安否確認は災害用伝言ダイヤルの活用や速くの報道を通して
8 歩いて帰る 訓練を
9 季節に応じた冷暖準備 (携帯カイロやタオルなど)
10 声を掛け合い、助け合おう

## 5 避難前に確認

電気ブレーカーとガスの元栓の確認を忘れずに 電気ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。

## 6 近所の安否確認

隣近所で助け合いを 一人一人での応急活動には限界があります。初期消火や避難の際には、隣近所で協力しあって活動しましょう。

# ！計画 避難所一覧

Table with 3 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists various evacuation sites in the Toyosu area.

## 豊洲地区

Table with 3 columns: 避難所名, 所在地, 地図索引. Lists specific evacuation sites in Toyosu.

# ！避難 高層住宅における避難行動

地震があった際は、小中学校などに開かれる避難所に避難することが考えられます。耐震や免震にすぐれたマンション等の場合、地震後も建物に安全に住み続けられるならば「在宅避難」が基本です。在宅避難をする場合、マンション等にお住まいの方は、災害協力隊を中心に下記のように行動しましょう。

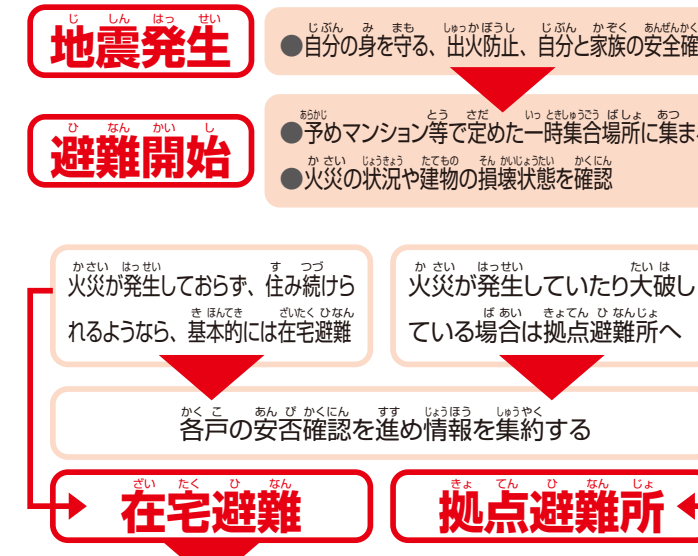


## ！避難 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけ電話が繋がりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。下記の日には、体験利用ができますので、いざというときに備えるために試しておきましょう。

# ！避難 高層住宅における避難行動

地震があった際は、小中学校などに開かれる避難所に避難することが考えられます。耐震や免震にすぐれたマンション等の場合、地震後も建物に安全に住み続けられるならば「在宅避難」が基本です。在宅避難をする場合、マンション等にお住まいの方は、災害協力隊を中心に下記のように行動しましょう。

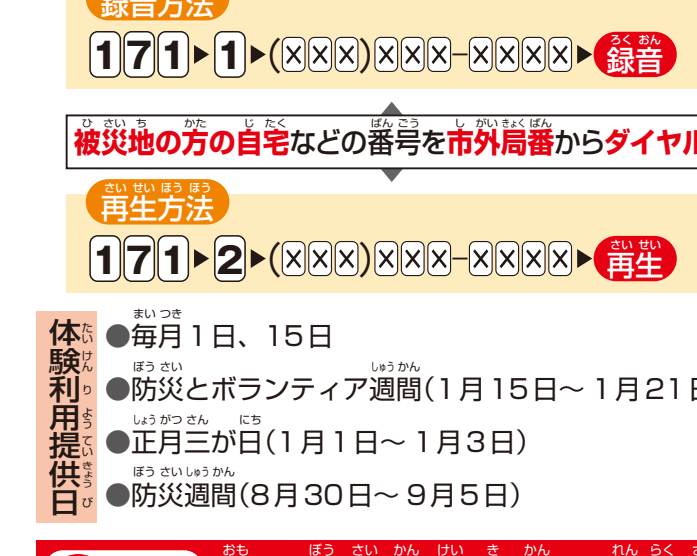


## ！避難 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけ電話が繋がりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。下記の日には、体験利用ができますので、いざというときに備えるために試しておきましょう。

# ！避難 高層住宅における避難行動

地震があった際は、小中学校などに開かれる避難所に避難することが考えられます。耐震や免震にすぐれたマンション等の場合、地震後も建物に安全に住み続けられるならば「在宅避難」が基本です。在宅避難をする場合、マンション等にお住まいの方は、災害協力隊を中心に下記のように行動しましょう。



## ！避難 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、地震などの災害発生により多くの方が一斉に電話をかけ電話が繋がりにくい状況になった場合に開始されるサービスです。声の伝言板として、家族間での安否確認や集合場所の連絡などに利用できます。下記の日には、体験利用ができますので、いざというときに備えるために試しておきましょう。